



平成24年度記録集

ラグビー秋田



撮影／小沢雄象

平成25年4月13日 Vol. 19

第92回全国高校ラグビー大会秋田県予選 秋田工業 VS 秋田中央
(写真提供 伊藤 悟氏)

秋田県ラグビーフットボール協会

目次



卷頭言 挨拶	秋田県ラグビーフットボール協会 会長 千田邦宏	1
「ミニラグビー(小学生期)の指導モデルを考える」		
.....	秋田市エコー少年ラグビークラブ 中学年指導者 小野寺純也	2
今年度を振り返って～子供達の頑張りが～	男鹿南中学校 ラグビー部監督 柿崎正人	3
東日本大会を振り返って	秋田市立将軍野中学校 ラグビー部監督 佐藤大	4
全国大会報告 再チャレンジ	秋田工業高校 ラグビー部監督 黒澤光弘	5
平成24年度 運動部活性化事業 ラグビー競技	大館工業高校 ラグビー部監督 明石涉	6
秋田ラグビーを支えて、支えられて		
.....	秋田ノーザンブレッツ ゼネラルマネージャー(秋田県協会理事) 新出康史	6
受賞おめでとうございます		9
2012年高校日本代表 イタリア・フランス遠征		10
平成24年度大会記録		11
S C R A P		34

卷頭言



挨 拶



秋田県ラグビーフットボール協会
会長

千 田 邦 宏

第92回全国高等学校ラグビーフットボール大会準々決勝は、秋田工業高校の大健闘があり白熱した素晴らしい試合となりました。結果は御所実業高校に僅差で敗れはしましたが秋田工業高校の実力は「花園」で十分に発揮されました。

ことしの秋田工業高校は春から秋田県内での試合は云うに及ばず東北大会でもワンサイドで勝利し、競った試合が皆無がありました。このことが花園ベストエイトの厳しいステージとなりますと残念ながら出でましたと云えると思います。第93回全国高校ラグビーにおいても秋田工業高校は優勝候補であります。どうか選手一人一人がルールに精通し、かつフィジカルにも強い体に鍛えあげて隙のないチームになって欲しいと念願しております。『人事を尽して天命を待つ』という言葉がありますが全国制覇の為には「人事を尽して天命をもぎとる」ぐらいのしつこさと執念が必要だと思います。

秋田工業高校の図抜けた強さに対抗する各高校のレベルアップを大いに期待しておりますし、その可能性は十二分にあります。どうか頑張っていただきたいと思います。

中学校では、9月の全国中学生ラグビーフットボール大会は男鹿市立男鹿南中学校が出場し奮闘しましたが決勝には今一歩というところでした。しかしながら18名という少ない部員で良く頑張りました。また12月の東日本中学生ラグビーフットボール大会は秋田市立将軍野中学校が出場しましたが全国レベルには今一歩というところでした。しかしながら県内中学校のレベルは毎年高水準にあり、お互いに切磋琢磨する中で鎧を削ってもらいたいと願っております。

社会人では、ノーザンブレッツがトップイーストで第8位の成績がありました。3勝6敗のうち2試合は勝てたゲームで大変残念でしたが課題となっていたスタミナとフィジカル面の弱さがその原因となりました。ことはこの弱点を克服した上でさらに接点の厳しさに負けない個人個人の強化に期待しております。

ノーザンブレッツはバスケットとサッカーのチームと違って9割の部員が秋田県出身者で、なおかつそのほとんどが秋田市内の官庁、諸会社に勤務するサラリーマンです。所属している勤務先の皆さんのご理解を得て頑張っておりますのでこれからもご支援のほど、よろしくお願い申しあげます。

秋田県ラグビーが「スポーツ立県秋田」をリードできますように全国レベルでいつも戦える力と県内就職の機会を広げる努力をこれからも引き続き怠らないで頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願ひ致します。

高校ラグビー

全国大会報告

再チャレンジ



秋田工業高校ラグビー部
監督

黒澤光弘

この度の第92回全国高等学校ラグビーフットボール大会出場に際しましては、皆様から多大な物心両面にわたるご支援を頂き、心より感謝申し上げます。

今年のチームの春の全国選抜大会ベスト4という成績は、本校にとっても久々の好成績で選手達も大きな自信となりました。大会では長崎北高校戦以外は、全て接戦での勝利で実力差はほとんどありませんでした。また、決勝トーナメント全ての試合が、大接戦であり今年の花園の全国大会の優勝争いは、混沌としておりました。一方で『春を制するものは、花園を制する』といわれており、優勝した東福岡高校に大阪勢を加えた数校を軸に、優勝争いが展開されると予想されていました。本校は、その下のグループ位の位置と捉え、久々にチーム目標を『全国制覇』にし『打倒・東福岡』を成田主将が付け加えました。

春以降、選抜大会で得た貴重な体験を糧にし、これまで取り組んできたアップテンポでボールを動かす攻撃的なラグビーに更に磨きをかけ、これまでよりも縦攻撃を多用し、運動量で勝負する攻撃的なラグビーを目指してきました。選抜大会後、非力であったフォワード陣が成長しセットプレーが安定したことから、バックス陣も思い切った攻撃を仕掛けることができ、またチーム全体の試合において安定感（落ち着いた試合展開・試合運び）も出て参りました。しかしながら、目指すラグビーを完成させるためには、個人として高い能力・スキルが要求され、また、チームとしては戦術・戦略の理解力と選手同士の連動性、そして個々人の判断力が必要となります。特に個々人の判断力としては、自分は今どこを走っているのか、次に何をしなければならないのか、次にどういう展開になるか、そしてどうプレーするのかといったことを瞬時に『ジャッジ』する能力を養成しなければなりません。そのために、練習ではこの『ジャッジ力』の能力を養成することに時間をかけ実践的な敵をつけたトレーニングを継続してきました。これはあくまでも個々人の基礎・基本プレー、基礎体力といったベーシックができているというこという前提であり、この練習も手抜なしに徹底して練習を積んできました。

県内・東北と無傷で勝ち進み、迎えた全国大会は東のAシードに選出され周囲の期待の大きさを、日に日に大きくなるのを感じながら迎えた2回戦、若狭東、3回戦、西陵商に快勝し、13年ぶりのベスト8に進出しました。1月3日の準々決勝当日、花園は過去に経験したことがないくらいの大観衆で埋まり、王者・東福岡が茗渓学園に逆転で敗れなど異様な雰囲気でしたが、この舞台に久々に立てた喜びと適度な緊張感の中で、御所実業（奈良）との対戦となりました。御所実業は、フォワード（ドライビングモール）が強く、ディフェンシブで堅実な試合運びで接戦をものにするといった勝負強さを持った、往年の啓光学園に似たチームカラーという印象でした。勝負のポイントは、フォワード戦であり、他には個々の接点・ブレイクダウンでの優劣は当然のことですが、本校のいかに、アップテンポの攻撃を積極的に仕掛け、3本以上のトライが（20点以上）が勝利の条件と考えていました。結果は、17対12（トライ数3本対2本）で破れ、夢は断たれました。僅差でしたが、本校にとっては不完全燃焼、攻撃は不発の2トライという点では、完敗と分析しております。御所実業は試合巧者であり、相手の力を封じ込む底力・勝負強さは、強豪ひしめく近畿での激戦区で揉まれた経験値の差を感じました。しかしながら、『圧倒的な実力差がなかっただけになぜ勝てなかったのか。攻撃はなぜ不発に終わったのか』と自問自答を繰り返しながら、3年間真摯な姿勢でラグビーに取り組んだ成田主将をはじめとする選手達に、監督として申し訳ない気持ちでいっぱいであり、この悔しさは花園で返すという強い気持ちで、新チームはンジに燃えてスタートしております。全国で優勝するため、またベスト8からの戦いの中でいかに勝ちきるかといったことを経験・学んだことを糧に、今後とも目指すラグビーを追求し、再チャレンジしていきたいと考えております。





秋工圧勝、8強進出

西陵(愛知)一蹴、12トライ奪う

1日のスポーツ



FWBK一体で猛攻

H25. 1. 2付

第4回全国高大
秋季大会



第4日

秋田工 vs 西陵

秋田工 36
西陵 0

試合結果



秋田工惜敗 4強ならず

御所実に逆転許す

全国制覇への挑戦に裏切られる



H25. 1. 4付

L.O三浦悔しき胸に頂点誓う



明大、早大に劇的勝利 史上初の3校同時優勝

明大ラグビー部は、14年ぶりに3校同時優勝を達成した。この記事は、その歴史的な瞬間を記録するため、複数の写真と詳細な解説が組み合わされている。

明大ラグビー部は、14年ぶりに3校同時優勝を達成した。この記事は、その歴史的な瞬間を記録するため、複数の写真と詳細な解説が組み合わされている。

明大ラグビー部は、14年ぶりに3校同時優勝を達成した。この記事は、その歴史的な瞬間を記録するため、複数の写真と詳細な解説が組み合わされている。



明大が14年ぶりの優勝を果たし、吉田監督(中央) = 国立競技場

・めぐら・ラウソジ



サントリーフーズ社長に就任

サントリーラグビー部で主将、監督を務めた土田雅人さん(50)は秋田市出身。人さんは「秋田市出身」が、サントリーの清涼飲料を販売するサントリーフーズ社長に就任した。選手や指導者として大学と社会人ラグビーで日本一に上り詰めた経験を生かし、今度は約1200人の従業員束ね、飲料販売でトップを目指す。スポーツビジネスの両分野で活躍する土田さんに、「勝てる組織」について聞いた。

「今年1月にサントリー フーズ社長に就任した。抱負を『サントリーに入社して一生懸命取り組んでいる』と云う。これまでの社会人生で思い出深いことは、「まさにラグビーと仕事を両立してきたことだ。選手の時も監督の時も、練習は基本的に仕事が終わる午後7時ごから。その

27年間、ずっと酒類を担当してきた。清涼飲料は今回が初めて。サントリー商品のシェアは、ビールが3位を獲得する。だが、飲料は2位。トップを狙える位置にいる。酒類に比べてシェアが高く、やはり高いがある」

「新商品を出しながら、いかにブランドを作っていくかが大事だ。ウーロン茶が30年以上、(コーヒー)の伊豆スカ20年、(緑茶)の伊右衛門が10年という歴史がある。こういうブランドをどう作り、消費者に対してもう一度語っている。今は、昨年ヒットした新商品を育していくため、一生懸命取り組んでいる」

「これまでの社会人生で思い出深いことは、選手の時も監督の時も、練習は基本的に仕事が終わる午後7時ごから。その

継続して勝てる組織づくりが使命

土田 雅人さん

エアを4年間で大幅に引き上げることができた。その後は「東京の街を(ワイスキーの)山崎で変えよう」と云々を宣言し、大々的にウイークリーを仕掛けた」

「入社したころは全国大会で同期の平尾誠二(元ラグビー日本代表)が、ラグビーでも実績を挙げてきた。

「入社したころは全国大

会に出場できるようなチ

ームをつくりたいとの思い

で強化に取り組んだ。たま

たまだが、主将1年目で全

く優勝。(95年の)監督

は任者を任せられ、土台作りを徹底した

「なぜ「日本」にこだわるのか。」「中学まで野球をやった

いざれの分野でも「勝てる組織」を目指してきた。マ

が、高校野球では日本一に

分、仕事のスピード、時間の使い方を意識し続けてきた

「2006年から『プレミアム営業部長』に就任し

(ビールの)プレミアムモルツの都内シェア拡大に取

り組んだ。東京・銀座を営業で毎日訪れ、とにかく飲食店経営者に飲んでもら

い魅力を語って、少しずつ広げた。その結果、取扱店が少なからず銀座でのシ

ンは上がる。トップになる

楽しさ、重みは、実際に経験してみなければ分からな

い。継続して勝てる組織をつくることが使命だと思っ

ている」

「百里・秋田にどのよう

な思いを持っているか。

「ほぼ毎年、母校(秋田工高)の夏合宿に顔を出し

ている。昨年には全校生徒の前で講話する機会も

あった。秋田は自分の原点。

母校のグラウンドに立つ

と18歳の時の気持ちを思

い出し、リフレッシュでき

る」

「仕事で全国を回る機会

が多いが、国道の沿線は、

どこも同じような風景。都

会のまねじやなく、特色を

生がした秋田らしい町づ

りを進めてほしい。自分も

何か協力できればと思つ

(聞き手)齊藤賢太郎